

測定する能力	
漢字・語彙力	論理的言語力
漢字や語彙を使いこなす力。漢字を使って論理的な文章を組み立てる力。	日本語を論理的に扱う能力。一文の構造を論理的につかまえる力。「ことはつながらり」指示語・接続語などを論理的に扱う力。
論理的読解力	論理的思考力
文章構造を論理的に解説する力。文と文との論理的関係、段落と段落との論理的関係。文章全体の論理構造を把握する力。趣旨を的確に把握し、小説などを客観的に読む力。	文章の要点を論理的に整理し、まとめる力。論理的に説明する力。おもに記述力・論述力。
論理的表現力	
他者に向かって、論理的に話す力。論理的に思考し、自分の考えを論理的に書く力。	

《問題Ⅰ》 漢字・語彙力 (60点)

\*\*\*

●解答 第一問

- (1) 【言葉】イ 【意味】ケ  
 (2) 【言葉】オ 【意味】カ  
 (3) 【言葉】ア 【意味】コ

第二問

- (1) 鉄則 (2) 便乘 (3) 無効

第三問

- (1) 起源 (2) 終始 (3) 収集  
 (4) 創意

第四問

- (1) 快挙 (2) 逆境 (3) 温厚

第五問

- (1) 人気のおもちゃの類似品を買う。  
 (2) 車の往來の多い道でじゅうたいが起きた。

■配点

- 第一問 各6点(言葉・意味 各3点)  
 第二問 各3点 第三問 各3点  
 第四問 各3点  
 第五問 各6点(並べかえ・漢字 各3点)

◆解説

第一問 小学生レベルの慣用語とその意味について確認します。

第二問

意味から二字熟語を作成します。単漢字の意味を考え、どの漢字との組み合わせがいかにも考えましょう。

第三問

同音異義語の問題です。文脈から意味を考え、適切な熟語を選びましょう。

■配点

- 第一問 8点(各4点) 第二問 4点  
 第三問 各4点

◆解説

第一問 「カラスが」↓「とまっている」が、主語と述語の関係。  
 イ 「食べる」が述語で、主語が省略されています。  
 ウ 「コップが」↓「落ちた」が、主語と述語の関係。  
 エ 「料理が」↓「冷めてしまった」が、主語と述語の関係。  
 オ 「洗濯物が」↓「ぬれる」が、主語と述語の関係。  
 カ 「はぐれる」が述語で、主語が省略されています。

第二問 「わたしは」が主語で「買いました」が述語。「新しい」↓「店で」↓「買いました」↓「くつを」↓「買いました」とつながります。

第三問 接続語の問題は、文と文、語句との関係を考えます。

(1) 空前前文が竹は身近な植物という内容であるのに対して、空所後文は「自分の目で竹の花を見たことがある」という人はあまりいません」と反対の内容になっているので、逆接の「しかし」。

(2) 空所直前に「性質があるからです」とあり、空所後文に「性質も持っています」とあるので、添加の「さらに」。

◆問題Ⅱ

論理的言語力 (20点)

●解答

- 第一問 イ・カ  
 第二問 イ  
 第三問 (1) ア (2) エ

◆問題Ⅲ

論理的読解力 (40点)

●解答

- 第一問 (1) イ (2) オ (3) エ  
 (4) ア (5) ウ  
 第二問 いつも自分のベッドの下に寝ている愛犬ボチの気配がしなかったから。  
 第三問 強敵におそれ、身体がすくんでしまってもがいているようなほえ方。

第四問 ア ○ イ × ウ ×

エ × オ ○

■配点

第一問 各2点 第二問 10点

第二問 10点 第四問 各2点

◆解説

第一問

- (1) 直後に「犬の名を呼んだ」とあるので、イの「ポチ……。ポチ……」。
- (2) 空所の後ろに「むこうから声をかけた」、「手みじかに語った」とあるので、オの「おや、玉太郎君かい。どうしたんだ」。
- (3) 直前の「戸口の外でへんな声ではえるもんだから」、直後の「しかし鳴きやまない」から、エの「僕はベッドの上からしかった」。
- (4) 直前の「どうやら甲板の上らしい」から、アの「あつ、甲板へ行つてほえていきますよ」。
- (5) 直後に「海の上を見てほえていたんですが、今おとなしくなりました」と状況を説明していることから、ウの「ほう。そんな高いところへ上つて。何をしているんだ」。

第二問

①直後の「それ」が「すぐ感じた不安」を指しているので、「それ」がふくまれる一文の内容を字数以内にまとめましょう。

第三問

②の少し前に書かれている「いやなほえ方だ。強敵におそわれ、身体がすぐんでしまつてもがいているような声だった」をまとめましょう。

第四問

- イ 同じ客室の人が玉太郎を起こさなかったのは、親切心を持っていなかったからなので、×。
- ウ 甲板に出てすぐにポチを見つけたわけではないので、×。
- エ ポチは玉太郎が近づくと、尾をふりながら、玉太郎の手をなめようとしており、はえるのを一時的にやめているので、×。

《問題Ⅳ》

論理的思考力

(40点)

\*\*\*

●解答

- 第一問 (1) 絶対的 (2) 時代 (3) 国
- 第二問 かつて
- 第三問 日本で開きいされたラグビーのワールドカップが成功に終わった。
- 第四問 商店街の福引で当たった電気ケトルでカップラーメンを作るためのお湯をわかす。
- 第五問 兄は中学からサッカーを始めたので、経験者に負けないうにだれよりも練習したが、最後まで大会の試合には出場できなかった。

■配点

- 第一問 各4点 第二問 6点
- 第三問 6点 第四問 8点
- 第五問 8点

◆解説

第一問

常識は絶対的なものではないということについて書かれた文章です。(1)常識がどのようなものでないかという「絶対的」。(2)常識が何によって変化するかという「時代」。(3)常識が何によって異なるかという「国」。

第二問

言葉のつながりを考えると、「かつて」↓「続けている」がつながりません。「兄は」↓「努力を」↓「続けている」「プロ野球選手に」↓「なるために」↓「続けている」とつながっています。

第三問

「ワールドカップが」↓「終わった」が主語と述語の関係。言葉のつながりを考えたとき、「無事だ」とつながる言葉はありません。

第四問

二つの文章に共通する言葉は「電気ケトル」。(2)の文を「電気ケトル」が文末になるように変形して、もう一方の文に入れめます。①の文を「電気ケトル」が文末になるようにして一文にした場合、電気ケトルがカップラーメン専用のもとなつてしまう

ので、ふさわしくありません。

第五問

順接の「だから」を理由を表す接続助詞に、逆接の「しかし」を逆接の接続助詞にかえて文をつなぎます。

\*\*\*

《問題Ⅴ》

論理的表現力

(40点)

●解答例

第一問 人気観光地

第二問

- ・アジアの国が経済成長して豊かになった(から)。
- ・日本文化や高品質な商品への関心が高まった(から)。
- ・LCCが増え、飛行機代が安くなった(から)。

第三問

例 外国語で禁止されていることが書かれた看板を設置する。  
禁止されていることがわかるイラストの看板を設置する。

■配点

- 第一問 4点 第二問 各8点
- 第三問 12点

◆解説

第一問 指示内容を探す問題は指示語の前を

近くから遠くに向かって探しましょう。

第二問

タケシの「どうしてそんなに(外国人旅行者が)増えているのかな」というセリフに対して、ケイコと先生が理由を述べています。二人のセリフから理由になる部分を探して字数以内にまとめましょう。

第三問

会話文の中でカズマは外国人旅行者が増加したことによる問題を挙げたうえで、その外国人たちには自分が悪いことをしているという認識がないみたいだと述べています。悪いことをしている認識がないのは、自分たちが禁止されていることをしているとは思っていないからです。外国人旅行者に禁止されていることを伝えるための方法の一つとして、外国語やイラストによる看板の設置などが考えられます。